

特定非営利活動法人 会員誌
ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



12・1月号
令和2年11月25日

■法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
●相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
●日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
●磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
●八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
●相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

元気な子供達の声が戻り2か月、アトリエも本来の姿が戻ってきました。家族制度が崩壊し核家族化がすすんでいる現況ですが、多世代が集えるアトリエでは、輝く未来があることだと嬉しくなります。

コロナ禍が続く中、田植えはできなかったけれど、例年通り新米が高橋さんより届き、実りの秋を実感。きれいに紅葉した木々の葉も落ち、北町アトリエ下の蓮池には、渡り鳥の姿が見られ5日には白鳥も飛来しました。

晩秋から冬の景色に変わり、年末にむけて何かと忙しい時期ですが

子ども達にとっては、冬休み・クリスマス・お正月… 寒い中にも楽しいことが盛りだくさんです。

コロナの影響で制約されることも多いと思いますが、皆様が、良いお年をお迎えできますよう、お祈り申し上げます



めだまやき



大きな木・混色練習



北町アトリエで…



南飯淵アトリエで…



中学生コース

9・10・11月の**かいがぞうけいきょうじつ**では…

未就学児：おいしいごちそう・めだまやき&ジュース作り

自分で卵を割って目玉焼き作り。絵の具で再現。どっちが美味しそう？おやつにオレンジ&グレープジュースを飲んだ後、絵の具でジュース作り。混色しながら色の発見。好奇心旺盛なみんなは意欲満々・・・

低学年：大きな木・混色練習

お話を聞く勉強から・・・塗る、切る、貼るの作業。レモン・黄・青色を混色しながら緑色を作り画用紙半分は葉っぱの色に塗る。その半分は木の色。2週目は話を聞きながら切って、大きな木に組み立て、葉っぱを貼って完成。

高学年：イラスト画・墨絵

元教室生・元スタッフの由香里先生にイラスト画のご指導を受けました。皆の希望のカリキュラムだったので、やる気満々・描く気満々の皆でした。北町アトリエでは、倉本先生自家製の里いもの写生を墨絵にしました。

全体：カレンダー制作

丑年の人は、コツコツ真面目でもくもくと仕事を行う人と言われています。お習字の先生でもある友美子先生の手ほどきで文字を書き、その回りにかわいい牛さんのはんこをおし、自分のサインの印をおして完成。

全体：陶芸—お皿作り・ペンダント作り

たたき練り50回、空気を抜く作業。オニギリ作ってハンバーグ。板とのし棒を使って厚さを均等にしたら人から合格シールを貼ってもらい葉っぱを型押しお皿の形にして完成。ペンダントも作ったよ。



12・1月の**活動予定 & 事務連絡**

- ◎12月 ・アートな習字でカレンダーづくり
 - ・特別授業 アートで遊んで感動体験
 - ・味噌作り
- ◎1月 ・陶芸 お守りの鈴

※ アルバム用の写真撮影もありますので休まないで下さい。

6年生・中学生コース 特別授業12月23日・1月6日

- <12月のご請求> 月会費に加えて
 - ・暖房協力金 2,000円
- <1月のご請求> 月会費に加えて
 - ・展覧会費 2,200円

食育のすすめ「**糰・味噌づくり**」スケジュール

- ◎糰作り
 - ・北町アトリエ 12月11日(金) 15時30分~16時
 - ◎味噌作り
 - ・南飯淵アトリエ 12月16日(水) 15時30分~16時
 - ・北町アトリエ 12月18日(金) 15時30分~16時
- 糰・味噌作り持参物 三角巾・マスク**

※金曜日コース未就学児は、教室の時間内で行います。
※金曜日小学生コースは、上記時間内に来れる方は出席ください。
※水曜日コースは、上記時間内に来れる方は出席ください。

お母さん

水野友美子（未就学児担当）

新しい命を授かり、無事生まれてきてくれたことに感謝、喜びをかみしめながら、母親として子育てスタート。

一日一日と成長していく我が子の姿に顔がほころぶ。

あどけない表情やしぐさに笑がこぼれ心癒される。

少々のいたずらも許せてしまう。

健康にすくすく育ってくれることを願い

心穏やかなお母さんと、思っていたのだが・・・

子どもが成長し、幼稚園、小学校へと子育ての世界が広がっていくにつれ、徐々に子どもに対する欲が出てきて、期待も大きくふくらんでいく。次第に、目先の成長や結果ばかりを気にするようになり、いつの間にか子どもの声に耳を傾けることも、子どもの気持ちに寄りそうことも後回しにして、イライラ、ガミガミ、いやーなお母さんに…子どものためと言いながら、自分のために自分が安心・満足するための子育てをがんばってしまう。

ある時「お母さんのいのり」という本を手にし、子どもの素直な気持ちが伝わってくる作文や心に染みる言葉にほっこり心温まる。

「お母ちゃん

お母ちゃんの胸に頭をくっつくと

お母ちゃんの音が聞こえるよ

あったかい音だね」

「すてきなお母さんは

あかるくて あたたかくて

そしてちょっぴりぬけている」

「お母さんの話は

じょうずでなくていい

一生けんめい話せばいい」



（書籍一部引用）

子どもにとってお母さんとは、完璧でなくていい、一生懸命に向き合ってくれる人。悲しい時、辛い時、落ち込んでいる時、そっと包み込んでくれる人、そしてほのほのとした楽しさを感じそばにただでホッと安心できる人。このようなお母さんに育てられた子どもは、のびのびとして、自分でやろうとする気持ちが湧いてくる。意欲的な子どもは力をつけ大きく成長する。できるだけゆったりと時間と心に余裕を持って、いいお母さんになれるよう心がけていきたい。

時間が流れ、私も「ばあば」と呼ばれる年になってしまった。こんな年になった今でも八十を過ぎた私の母は、娘を何かと心配しながら温かく見守ってくれている。何才になっても子どもを思う母心は変わらないようだ。最近では「すごくぬけたお母さん」になりつつあるが、私も母のようにこれからずっと、娘を見守っていききたいと思う。

最後に、絵の指導をはじめ、自然の中での体験活動など生きる力を育むことにも力を入れてきた絵画教室、長年に渡り数多くの子どもたちと関ってきて、まるで経験豊富なベテランお母さんのような存在だ。これからも、子ども達、そして子育てに奮闘するお母さん達を温かく見守ってくださるように・・・

当法人理事羽根田隆先生 日展入選おめでとうございます。

コロナ禍に元気と希望

相馬市の医師羽根田隆先生（80才、美術の全国公募展「改組第7回日本美術展覧会（改展）」の洋画で2年ぶり12度目の入選を果たした。医療現場で新型コロナウイルス対策に奔走しながらの決意に「入選に元気と希望をもたらした。苦労が報われてうれしい笑顔を見せ、今年も新型コロナウイルスの影響で所屬する絵画団体の展示会が軒並み中止となり、5月に予定していた自身の個展も1月に延期した。診療の現場では発熱患者への対応、院内感染防止対策に苦慮する状況だった。難しい状況の中で少ない空き時間を見つけた。

日展12度目の入選



日展で入賞した羽根田先生の作品「壁面の谷」



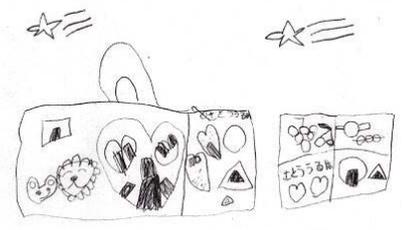
羽根田先生の待合室は羽根田隆先生の絵をメインに当法人顧問の渡辺雄彦先生の絵が展示され、まるでギャラリーの様、今回もお忙しい本業の傍ら、日展に出品。入選してしまうのですから努力と才能に脱帽です。羽根田先生の外形も素敵ですが、ギャラリーのような待合室の空間に癒されます。

収穫の秋

今年も新地町の早川りんご園でりんご狩りをさせていただきました。



じぶんでにぎった 新米おにぎり おいしかったよ！



おにぎりのかたは、さみくでした。おにぎりのつぶつぶ、でおいしかったよ。おにぎりのところか、おいしかったです。しろうてあまかったで。

2021年、実り多い年になりますように・・・